

## 東日本大震災支援活動報告



### 震災発生からのセカンドハーベスト・ジャパンの動き

未曾有の被害となった東日本大震災が 2011 年 3 月 11 日に発生してから、セカンドハーベスト・ジャパン (2HJ) では、仙台、気仙沼、南三陸、南相馬、石巻、大船渡などに対して、食品・物資の提供を行ってきました。これまでに、2HJ からは 60 台以上のトラックを被災地に送り込んでいます。全国各地の個人・企業の皆さまから、食品・物資をお送りいただいております。また世界中から募金による支援が 2HJ に届いています。私たちは、そうした皆さまの温かいご支援をトラックに乗せて、被災地の方々に届けています。ここにあらためて、多くの方のご支援にスタッフ一同心よりお礼を申し上げます。スタッフからは、現地の状況について「すべてが津波に流され、昨日までそこに街があり、家があり、人が暮していたとは信じられない、爆撃を受けた後のような壊滅的な状態でした」という言葉もありました。

その状況を前に、私たちは、今何をすべきかを考えながらこの 3 カ月支援活動を続けてきました。今、2HJ は震災以前と同じように、継続的に支援を必要とする方達に食品を提供していくことが、被災地の復興につながっていくと信じて活動を続けていきます。緊急支援フェーズを過ぎ、被災者の方々も仮設住宅に移るなど状況は変化しています。2HJ では、そうした変化に対応して、より組織的・継続的に被災地の皆さまに食品・物資を提供できるよう、現地フードバンク・システムの構築を目指して目下、提携団体の選定を行っています。よりきめ細かく、充実した食品・物資の配給ネットワークを構築するためにも、皆さまのご支援がこれからも必要になります。どうか、引き続き 2HJ をよろしくお願いいたします。多くの方々のご協力に心より感謝申し上げます。

#### CONTENTS

震災発生からのセカンドハーベストジャパンの動き ... 1  
震災支援活動報告ブログから ..... 2

2HJ 理事長が現地を実際に見て ..... 3  
数字で見る活動状況・メディア掲載情報 ..... 4

#### セカンドハーベスト・ジャパンとは・・・

食品関連企業や農家、個人などから食品の寄付を受け、それらを児童養護施設や母子支援施設、DV被害者のシェルター、さらに路上生活者の支援している団体などに届けるフードバンク活動を行っています。

発行元 **セカンドハーベスト・ジャパン**  
〒111-0053 東京都台東区浅草橋4-5-1 水田ビル1F  
TEL:03-3838-3827 FAX:03-3863-4760  
E-Mail:info@2hj.org URL:http://www.2hj.org

# 震災支援活動報告ブログから

3月11日の震災発生以降、2HJでは震災支援活動に関するブログを立ち上げ、定期的に活動の報告をしています。こちらでは、ブログ記事から転載という形でご紹介します。

## 5/25 南相馬で物資配布を行いました

5月21日、セカンドハーベストジャパンは有志の団体「セーブ南相馬プロジェクト」と協力して「道の駅南相馬」で2回目の物資配布を行いました。

今回は3台のトラックで生鮮食品（野菜、ウインナー、卵）、牛乳、水、菓子、マスク、タオル、高齢者用オムツなどおよそ10トンの物資を用意しました。



早朝4時半にトラックが現地に到着した時にはすでに50人程並んでいる方がおり、5時過ぎより受付を開始、整理券の配布を始めました。最初の200人分の整理券は70歳以上の高齢者と身体の不自由な方に優先して割り当てられ、一般の方は201番から並んでいただきました。



整理券は800人分で終了。それ以降は受け取れる物資が少なくなることを前提に並んでいただきましたが、最終的に配布開始の7時から終了の9時半までの間に1126人の方々に物資をお配りすることができました。



配布スタッフはセカンドハーベスト、セーブ南相馬プロジェクト、地元南相馬鹿島地区の皆様、その他福島県各地からの応援を合わせて40人以上に登り、この方々のご協力なくして今回の物資配布は実現しませんでした。この場を借りて深く御礼申し上げます。



地震・津波の被害だけでなく、原発に対する不安をかかえる南相馬をどのような形で支援できるのか、今後も模索していきたいと思えます。

**震災支援ブログにて、日々支援活動の様子を報告しています。是非、ご覧ください。**

<http://2hjdrblog.blogspot.com/>





気仙沼市にて、被害状況を確認する理事長チャールズ・マクジルトン（左）



気仙沼市の唐桑地区にて、食品を荷下ろしする様子



石巻市の避難所近くで被災者の方々に食品・物資を提供している様子

## ツイッターから (@2ndharvestjapan)

3/20 昨日のエピソード：仙台へ支援物資を配達中の東北道で、ちょうど宮城県に入ったあたりかな？横断歩道に「助けに来てくれてありがとう！」と書かれた垂れ幕があり、寒い中子ども3人が通る車一台一台に手を振っていました。励ましに行くつもりが、むしろ自分が励まされました。

## 2HJ 理事長が現地を実際に見て

震災発生から一週間後に私は支援物資の提供のために気仙沼に行きました。津波による被害は信じられない規模でした。地域全体が波にさらわれていました。車両はおもちゃのように散乱していました。建物は目に見えない手によって破壊されたか動かされたかのようです。しかし、断崖から街を眺めて感じたことは、「私はこの国を愛している。この国の人たちを愛している」ということです。日本に20年以上いて思ひもかけず出た感情でした。人々がいかに団結していたかを思い出して涙がこみ上げました。同じ日には波によって消し去られた漁村に行きました。物資を下ろすときに、「わっしょい、わっしょい」と歌声が聞こえてきました。私は「この人たちはいったい誰なんだ？」と思いました。荷下ろしを終えてから「なぜそんなに明るくいられるんですか」と彼らに訊いたところ、「大きな津波の被害はこれで3回目。また立て直すさ」という言葉が返ってきました。彼らは、再び街を立て直すことでしょう。

私がこうした話をするのは、この三ヶ月間は、関わった全ての人にとって感情面で非常に強い体験だったからです。私たちは2011年を始めるにあたって、予算の引き締め等、団体の維持のために必要なことを検討していました。しかし、3.11が全てを変えました。国内外から多くの支援が集まりました。このニュースレターは、支援を下さった多くの方への感謝の印であり、皆さんの支援は本当にありがたいものでした。

現地の状況は刻一刻と変わっています。しばらく前まで、大口の寄付者には状況が安定するまで寄付を待つて欲しいとお願いしました。実際、HPにて3週間ほど具体的なプランを策定するまで、大口の寄付は待つて欲しいというお願いのステートメントを出しました。この点でNGOの世界で若干ユニークですが、私たちの普段からのアプローチにはそれが適切でした。必要とする人たちにベーシックな支援を提供する一方で、継続的な支援を行うために事業計画に基づいて運営していきたいと考えています。これは、2001年に事業計画を立てた時や2004年に最初の財務モデルを作った時と同じアプローチです。現在の東北での支援計画作りも同じように進めていきたいと考えています。

「Thank you」この一言に尽きます。これまでいただいた多くのご支援に心から感謝の気持ちを表したいと思います。どうか、皆さまのご支援が私たちや被災地の方達にとってとても大きな意味を持っていることを忘れないでください。私たちは皆さんとともに、より良い東北を作って行きます。

セカンドハーベスト・ジャパン理事長  
チャールズ・マクジルトン



**3月11日震災当日の夜**には東京浅草橋の事務所前にて、帰宅困難者へ温かいスープとパンを約4000食配給しました（写真左）。3月14日以降全国各地からぞくぞくと届く支援物資は、連日たくさんのボランティアによる仕分け作業の後トラックでほぼ毎日被災地へ輸送しています（写真中央と右）。

## 2HJの震災支援長期計画について

セカンドハーベスト・ジャパンは、今後2年間に渡って、東北各地の支援団体と協力し、被災地におけるフードバンク活動の発展を通じて、被災者が継続的に食品・物資の提供を受けられる仕組み作りを目指していきます。この計画は、長期的な復興支援を目指すものです。現在、協力団体の選定と直近のニーズ把握のプロセスを進めています。セカンドハーベスト・ジャパンでは、東北地方のいわき市から宮古市に渡るエリアにて少なくとも約5カ所の提携拠点が必要だと考えています。最終的な予算を決めるのは難しいのですが、さらなる募金が必要になります。今後2年間において、約8000万円のコストを見込んでいます。引き続き皆さまのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

### 数字で見る活動状況

地震から二ヶ月経った5月31日現在の支援品集計です。

#### 物資の寄付

- ・個人・団体から パッケージ数：約**3,800**個。重量にして約**74**トン
- ・企業からは**400**トン以上

#### 募金

3月11日から5月31日までに、企業・団体・個人のみならずから頂いた寄付金総額は**95,961,058**円となりました。皆さまの温かいご協力が心より感謝申し上げます。

#### 配達回数

**64**台の4トントラックを東京から被災地へ配送。他団体の車両では**40**回以上提供。

### メディア掲載情報

2011年これまでの主立ったメディア掲載情報です。

- 5月24日 - 河北新報「食物アレルギー対応食品届く 米在住日本人女性奮闘」にて、2HJを紹介
- 4月21日 - 映画「飯と乙女」の前売券売上の一部がセカンドハーベスト・ジャパンに寄付されました！
- 5月6日 - TOKYO FM ラジオ（東京単）『よんぱち』で2HJスタッフ菊地がインタビューを受けました！
- 4月8日 - 日本の抱える諸問題に取り組む草の根の変革者を紹介した本『日本を大切に仕事一身のまわりから社会を変える10人の生きざま、働きざま』（山岡淳一郎著／英治出版）にて2HJを紹介
- 1月30日 - NHK ラジオ第一「地球ラジオ」の「アイラブジャパン」のコーナーに、理事長チャールズ・マクジルトンが出演しました！

### 震災支援募金のお願い

セカンドハーベスト・ジャパンでは、今後2年以上に渡って被災地支援活動を継続していく予定です。継続的な支援を可能にするためにも、是非皆さまのご支援をお願いしたいと思います。あなたの募金が、必要のある方たちに食品や物資を届ける力になります。皆さまのご支援に心から感謝申し上げます。

セカンドハーベストのHPから募金ができます。

[www.2hj.org](http://www.2hj.org) までお越し下さい。ご質問は、[donation@2hj.org](mailto:donation@2hj.org) または 03-3838-3827 にお願ひします。

### 銀行振込・郵便振込での募金はこちら

#### 郵便口座

名義：2hj  
口座番号：00120-7-171027

#### 銀行口座

銀行：三菱東京UFJ銀行 用賀出張所(762)  
口座種類：普通  
口座番号：3647565  
口座名義：セカンドハーベスト・ジャパン

銀行振込をご利用の方は、2HJ事務所までご寄付を送っていただいた旨をご連絡ください。受け取り確認の旨のご連絡を差し上げます。